

学校法人 東京滋慶学園 埼玉福祉保育医療専門学校 学校関係者評価委員会 評価結果および改善方針

【2021年6月30日実施】

2020年度自己点検自己評価(2020年4月1日～2021年3月31日)による

大項目	点検・評価項目	自己評価	現状の取組状況	課 題	今後の改善方針	委員評価	学校関係者評価委員の御意見
		優れている:3 適切:2 改善が必要:1				優れている:3 適切:2 改善が必要:1	
1 教育理念・目的・ 育人人材像	1-1-1 理念・目的・育人人材像は、定められているか	3	教育理念(建学の理念)養成目的、教育目標を文書として明記している。 学園の理念は普遍のものであるが、時代や環境の変化に合わせて学科のイノベーションを図っている。	特になし	特になし	3.0	○教育理念の下に明確な教育方針を掲げ、高い意識で取り組んでいる。 ○建学の理念をベースに教育の目標が明確に示されており、社会に有為な人材を育成している。 ○事業計画は明確になっていると思います。 ○LT2プログラムの特性上、時間のかかる傾向があるのではないかと思います。一方で、学校全体の教育システムの実践が弱まってきているとの課題があるが、このシステムを実施している以上致し方ないと感じます。本会は、職業実践専門課程におけるものと考えたと、LT2プログラムはこれに合ったものであると思いますので良いと思いますが、現場の講師等にとっては、どちらも遂行しなくてはならない状況となっているとなると、どちらも中途半端な結果になってしまうのではないかと懸念されますので、学校側でどちらにウェイトを置くのかある程度示した方が良く感じました。
	1-1-2 育人人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	3	教育課程編成委員会や実習指導者懇談会、実習巡回時のヒアリング等を通じて必要な人材像、カリキュラムを構築している。 東京都介護福祉士会、埼玉県介護福祉士会、埼玉県社会福祉士会、埼玉県老人福祉協議会、さいたま市社会福祉協議会等と連携している。	特になし	特になし		
	1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	3	LT2教育システム、MMPプログラムなど独自のカリキュラムに基づいた現場力教育を行っている。	学科ごとの特色を優先して、学校全体の教育システムの実践は弱まってきている。	学科会議、教務会議での討議が必要。		
	1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	3	事業計画は5か年で計画しており、また周知するための研修や会議等システムが存在する。	特になし	特になし		
2 学校運営	2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	3	事業計画を5か年で作成、周知するための研修、会議がシステムとして運用している。 浸透度の確認としては、学園のパーソナルアンケートやONOMOーティングなどがある。	特になし	特になし	3.0	○組織を自ら点検するシステムを構築し、健全な学校運営を推進している。効率的な発想を兼ね備え、組織として統制が取れている。 ○学校組織がしっかりしており、健全な学校運営がなされている。 ○組織体制は全て明確になっていると思います。 ○様々な取り組みをされており、学生等にとっては良い環境作りを進められていると感じます。一方で、良い取り組みをされていく事が増えていくにしたがって、職員等の負担が増しているのではないかと懸念されます。また、業務内容上、点数などでは評価が仕切れない部分が多々あるのではと想像します。その点の職員へのフォローや業務管理、フォロー体制についても加味されながら、取り組みなどの検討をお願いしたいと思います。上記について、現場の職員の負担を軽減させるために、その上司が肩代わりなどして、一部の者に大きな負担がかかる事も懸念されますので、学校全体で検討、調整等を図られる事も併せてお願いしたいと思います。
	2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	3	チェック項目は全て事業計画に定めている。見直しは四半期ごと運営会議で行っている。	特になし	特になし		
	2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	3	理事会は年3回開催され、議事録も作成している。寄付行為も適宜変更している。	特になし	特になし		
	2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	3	組織図、職務分掌、会議日程は全て事業計画に記載して共有している。また就業規則も定められ閲覧できるようになっている。	特になし	特になし		
	2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	3	学園本部による人材採用、給料規定が定められている。昇任、昇格も目標管理制度に基づき業務を点数化しシステムとして機能させている。	特になし	特になし		
	2-6-1 意思決定システムを整備しているか	3	意思決定システム、責任者も事業計画に記載されている。	特になし	特になし		
	2-7-1 情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	2	AS400システムで広報～在学中～卒業後まで一貫した情報管理を行っている。また、近年では業務システムに移行しながら、利便性を高めている。 iPadによる出席登録を行っており、担任は学生の出欠情報を机上のPCで確認できるようになっている。 5月をデータプライバシー月と指定して、各PCのデータの適正化、不必要なデータ削除を実施している。 個人情報の取扱いについては日本プライバシー協会の研修を全教職員が受講し、修了すると共に定期的な更新講習を行っている。	人為的なミスを減少させることが今後の課題である。	講師への個別対応を実施する。		

3 教育活動	3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	3	教育課程編成委員会の規定を定め、それに基づいて実施している。	特になし	特になし	3.0	<p>○コロナ過においてもその中でどのように質の担保をしていくか、またその状況を活かして新たな取組、イノベーションを図られるようとしている事が伺えます。大変な状況と推察しますが、負の糧も将来に活かす姿勢、対応を引き続きお願いします。</p> <p>○教育機関として根幹を成す部分だと思いが、現状に満足することなく更なる高みを目指し、改善を図っている点は評価出来る。</p> <p>○ディプロマポリシーが明確に示されており、それに沿った教育課程が編成されている。</p> <p>○卒業生へのアンケートを実施するなどアフターケアも充実している。</p> <p>○授業アンケートを実施し授業改善を図っている点も評価できる。</p> <p>○資格の取得率、国家試験の合格率ともに高い成果をあげている。また、卒業生への支援もしっかり行われている。</p> <p>○教員研修も充実しており、組織としての方向性がしっかりしている。</p> <p>○アンケート実施等集約も大変かと思いますが引き続きよろしく申し上げます。</p>
	3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	3	教育指導要領(学生便覧)に全て記載している。資格取得に向けては通常授業、通常授業外でも対策授業を実施している。国家試験対策センターでデータの分析、対策研修、教育分科会を実施している。	特になし	特になし		
	3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	3	教育課程編成委員会の規定を設け、学科ごとに年2回開催し、カリキュラム作成に活かしている。講義・演習・実習は学生便覧に記載し学生に説明している。シラバス、コマシラバスを全ての授業で導入し、具体的な到達目標を示している。また、その到達具合を図るための小テストを毎授業で実施している。学園グループの教育分科会にて他校の成功事例を学び教育内容、方法、授業計画等の改善に活かしている。目標達成人材をディプロマポリシーで明示している。学科ごとのシラバスと毎回の授業の内容を示すコマシラバスをMoodleへの掲載はほぼできている。	カリキュラム改定の根拠やプロセスを明確化するとともに、その効果をどのように図るかを明確にする必要がある。	教務部長を中心に各学科で検討を進め、記録を残す。		
	3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	3	教育課程編成委員会のみならず、実習指導者懇談会、OBOG就職相談会等、業界と連携しての行事、実習巡回を通じて業界や卒業生の意見を積極的に取り入れている	特になし	特になし		
	3-9-3 キャリア教育を実施しているか	3	キャリア教育ロードマップを作成し、授業や行事等体系立てた教育を実践している。これまで実績のない就職先を優先に内定先訪問をキャリアセンターが主となり実施。新卒1年目を対象に離職調査を兼ねて就業状況アンケートを実施している。また、実習中の巡回指導の際には卒業生の状況についてもヒアリングをしている。	特になし	特になし		
	3-9-4 授業評価を実施しているか	2	前期1回学生による授業アンケートを実施している。年1回の講師面談にて、授業アンケートの内容をフィードバックしている。	アンケートの前年度との比較や、講師面談でフィードバックした後の改善状況の確認に課題がある。	アンケート実施前に実施期間・実施方法、フィードバック期間・担当者までを明確にした企画書を作成、共有する。フィードバック後の授業見学や講師との打ち合わせのスケジュールを予め決め効果測定を実施する		
	3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	3	評価基準は学則で定めており、学生便覧に記載し学生への説明を行っている。講師会議で成績評価(GPA評価)に関する研修を実施している。定期試験と小テストの運用で、日々の学習が成果に繋がるしくみとしている。進級卒業判定会議にて成績評価について認定している。	特になし	特になし		
	3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	3	分野特性で対外的なコンテスト等はないが、卒業研究や学習成果発表等の内容についてはレジメを冊子にしてまとめている。(2020年度はデータ化した)にしてまとめている。	特になし	特になし		
	3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	3	取得目標資格は学生便覧に記載しており、また資格取得に向けて対策授業も行っている。WEBでの国家試験対策も行っている。	特になし	特になし		
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	3	国家試験不合格者への卒業後の支援は無料でやっている。	特になし	特になし			

	3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	3	講師契約は毎年更新し、そのたびに履歴書、資格取得の免許写し、実務経歴書も確認している。教員の採用計画も事業計画に記載しており計画的な人事採用を行っている。教員の資格・実務経験などもシラバスに記載している。人材確保においては業界団体のホームページに掲載するなど連携を図っている。	特になし	特になし	
	3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	2	常勤職員については学園の研修、外部研修を通じて資質の向上に努めている。また、講師向け研修会を実施している。学園グループの教育研究・研修期間(JESC)にて教育学会を開催し教職員の教育活動を支援している。	授業改善の活動の取組が不足している。	成功事例の集約と水平展開。	
	3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	2	教務部長、学科長を中心に教員集団の資質向上に努めている。役割一覧にて教育の責任は明確になっている。FD研修の開催。担任を中心に非常勤講師との情報共有を頻繁に実施している。	非常勤講師と情報共有はしているが、連携についてはまだ課題があり、学科によって連携協力体制に差がある。	講師とのコミュニケーション方法のシステム化、研修会、勉強会の検討	
4 学 修 成 果	4-13-1 就職率の向上が図られているか	3	就職者率、内定率は目標設定している。学生の活動状況は就職システム(業務システム)で随時更新し情報共有している。就職行事も年間を通じて行っており、データも一元管理している。 OBOG就職相談会、模擬面接会等、時期に合わせた就職イベントと各科の就職対策を学生のモチベーションに合わせて実施することで、効果を高めたい。 分野ごとの新しい就職情報や傾向をキャッチするとともに現在の学生の就職意識や特徴などを伝えるなど情報交換を行っている。	新卒学科と性質の異なる社会福祉士養成科の就職活動	学科ごとの役割分担を明確にした就職支援	3.0
	4-14-1 資格・免許の取得率の向上が図られているか	3	資格ごとに合格率目標を事業計画で定めており、全国平均との比較をし、日々精査している。国家試験対策研修会に参加(2020年は中止)し、国家試験対策授業、模擬試験、教科書教材等の見直しを図っている。	介護福祉士科において、【留学生】の合格率が極端に悪かった(14名中5名合格、9名不合格)	留学生の個別面談、日本語対策・国家試験対策を通常授業以外で組む。	
	4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	2	卒業1年の離職調査を行い、業務システムに情報集約している。「卒業生インタビュー」を学校HPに掲載。卒業生の活躍から福祉の魅力を発信している。	卒業生は当時の職員を通じてのつながりが基本の為、卒業生の動向がわからない世代がある。(現在の職員とのかわりが薄い世代)	同窓会でのネットワーク再構築。卒業生に対しても学校公式LINEの登録を促す。各施設に一斉配信する。	
	5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	3	キャリアセンターと卒業学年担任とは朝礼・終礼の日ツールボックスを行い情報共有している。また、業務システムでも活動状況を共有している。説明会の実施も業界と連携している。学生ポータルサイトを通じて求人票及び就職マニュアルを閲覧でき、保護者も含めた就職情報共有ができる。	1年制学科の就職に向けた動機付け及び新卒ではない未経験社会人学生(委託訓練生・40代以上の学生の)の就職マッチング。	個人に合わせた就職支援のより一層の強化。キャリアプランシートの作成とジョブカードを活用した面談の実施の強化。	○学生への支援が充実している。今、様々な困難を抱えながら学んでいる学生が多い中、きめ細やかなケアがなされていると理解した。今後ますますの努力を期待する。 ○カウンセラー配置や様々な学生の支援等素晴らしいと思います。引き続きよろしく願います。 ○心などに障害を抱えている学生への対応はとても難しい事と推察します。個人的な意見として、学校側が一定の支援等を行い、他の学生や職員等へ一定以上の負担等がかかっている状況であれば、割り切った対応する境があつて良いかと思ひます。個と全体とのバランスをもつて見極めて頂いて良いのではないかと思ひます。 ○義務教育、高等教育を終了し、選挙権を得ている18歳以上、且つ自ら専門職を志して己の意志で入学した学生に対し、学校はどのレベルまで保護しなくてはならないのであろうか。保護者の責任も多々あるものと認識しているが、あくまで学校としてできる支援は行なうという姿勢に感銘すら受ける。学生に対する愛情を感じる。 ○退学理由としてあげている進路変更は、魅力的な授業が実施されておらず、モチベーションが低下したのか?授業を受けて学びたかった内容は違っていたという気持ちをもたつたのか?いつれにしろ授業が起因となつて
	5-17-1 退学率の低減が図られているか	3	退学数は開講以来数字で集約、分析している。また学生相談室を設置し連携している。年1回のキャリアサポートアンケートにて個人の状況を把握し学生サポートに活かす。学科により理由が分かる傾向にある。クラス内の人間関係や授業内容に起因した資格取得へモチベーションの低下、精神的な疾患によるなどが主要因。	12名の退学者のうち、10名が1年生。1年に特化した学生対応が課題。	問題発生後に早期対応と継続支援するための担当者を明確に設定する。 状況を業務システムに記録し、関係者で確認。 休学者対応は担当を明確に行う。	
	5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	3	専任カウンセラー1名と非常勤カウンセラー2名を配置している。またJTSC(滋慶トータルサポートセンター)とも連携し、様々なケースに対応している。	精神疾患の相談件数が増加しており、医療機関との連携が必要なケースもある。その際保護者の理解が得られないケースの関わりが難しい。 また、カウンセリングの継続動機付けが難しい。	非常勤講師、医療機関と連携を組み、対応策を検討していく。 また、カウンセリング継続動機付け方法を検討していく。	
	5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	3	留学生窓口として教職員を配置。担任など複数人で留学生支援チームを結成し週1回の情報交換の場を作り、学習、学生生活、私生活等での問題解決を行なっている。	国家試験対策、職場の受け入れ態勢整備。 日本語学校から講師を招聘し特別授業を開講。	学園グループに留学生支援センターを設置する。	
	5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	3	日本学生支援機構の奨学金利用者は増えており、学生サービスセンターが手続、返還案内等行っている。また保護者への説明として保護者会を実施している。家庭での支援が充実するよう保護者との面談を強化している。	生活保護世帯や児童養護出身者など、家庭での支援が望めない学生、経済的困難者に対して個別に対応しているが、制度として整えていく必要がある。	学園グループの留学生支援センターを設置する。	

5 学生支援	5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	3	感染拡大予防対策として、全学生に対して日々の体温を記録した健康観察カードの作成と登校時の提示を徹底している。			3.0	<p>いると感じた。</p> <p>○担任はじめ、教員が一人ひとりの学生をよく見ていて気にかけて、声をかけるなど気遣いをしている姿をみせることも重要だと思いません。</p> <p>○包容力、受容力あふれる先生方が多くありがたく思っています。学生の経済面への支援体制を整えてくださっている。</p> <p>○コロナ感染拡大の環境下、健康管理については学生側の意識の差が現れている。</p>
	5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	3	学校運営の寮はないが、提携寮が男女それぞれ2つある。実際には埼玉県外からの入学は少なく、寮の利用も多くはない。	特になし	特になし		
	5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	3	SCWクワイヤーは高齢者施設や地域行事等で公演を年10回程度行っており、また学生スタッフ活動も地域活動を行い貢献している。 ※2020年度はコロナ禍で実施できていない。SCWクワイヤーは高齢者施設や地域行事等で公演を年10回程度行っており、また学生スタッフ活動も地域活動を行い貢献している。	特になし	特になし		
	5-20-1 保護者との連携体制を構築しているか	3	「一人ひとりを大切に」をキーワードに保護者会、保護者との個別面談を適宜実施している。 また、成績通知は年2回発送している。	協力が得られない家庭への対応。	カウンセラー含め学科職員で共有して学校の出来ることを探りながら対応する。		
	5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	3	同窓生主催の同窓会を開催。キャリアアップに合わせた分科会や相談会を実施。会報も作成。 今年度の同窓会はコロナ禍のリスク回避のため中止。 再就職支援についてはzoomによるオンライン相談で実施する他、対象となる卒業生には就職ポータルサイトのIDを発行し、在校生向けの求人票を閲覧できるように対応している。	卒業生のキャリア段階に合わせた卒業教育としての同窓会の開催。 集合型同窓会の限界。	Zoom(ウェビナー)やLINE等のSNSを活用したオンラインでの実施		
	5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取組んでいるか	3	「〇日相談会」など業界連携をしている。 卒業生も対象としたウェビナーを実施。 ・2020年度 実績 保育：汐見稔幸氏 『少子高齢化の今、なぜ保育が大切になったか』 介護：与野学院、メディカルシステムサービス 『外国人人材の活用について』	イベント時の卒業生への告知	2020年度卒業生よりLINEで案内を行っていく。		
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	3	社会人入学者は毎年3割程度いる。コロナ禍の不況もあり、社会人学科である社会福祉士養成科は例年より多く学生が入学している。 ICT環境が学生にとって、かえって不利とならないように、事前アンケートの実施をもとに整備した上で迎えている。 学校案内や説明会に対応している。図書室には司書を配置し自習環境も整えている。	就職においては単に分野の適性にとどまらず年齢・家庭状況・職務経歴を前提とした支援を要する。	Jobカード作成支援			
6 教育環境	6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	3	指定規則と同等またはそれ以上の設備、備品を整えている。設備については点検、整備含め関連会社が行っており計画的に改修も行っている。 卒業生対象に図書室の開放と貸し出しを行っている。 滋慶スペースによる施設・設備等の保守、入れ替え等の10年計画を立案。その計画に基づいた予算を事業計画に盛り込み実行。	特になし	特になし	3.0	<p>○教育機関として必要な環境をきちんと整えている。</p> <p>○ニーズに合った学生募集をきめ細やかに実施している。少子化で苦勞も多いかと思われるが継続されることを期待する。</p> <p>○地域とのつながりは今後も大切にしたいだけだと思います。</p> <p>○近年自然災害が頻発していますが、学校近隣の自然災害予測がどのような環境にあるのか気になります。(大雨の際の洪水や浸水等の可能性)もし水防関係のリスクが高い地域である場合、その避難方法等も検討、確保されておく必要があると思います。</p>
	6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	3	実習については、学科ごとに実習要綱を作成している。例年行う全学科共通の実習指導者懇談会はコロナ禍の感染リスクもあり中止または、形式を変えて実施。 また巡回指導でも実習指導者と連携を図り学生を指導支援している。 コロナ禍における養成校の規定に基づき電話やzoomを用いた巡回指導を行った。 地域連携の学内実習を昼間部の各科にて学生が主体となって運営している。 介護：オレンジカフェ 保育：エンゼルキッズ 言語：ことばの教室	特になし	特になし		
	6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	3	埼玉ベルエポック製菓調理専門学校と連携して防災訓練を実施している。施設の耐震化などは関連会社に管理してもらい適正である。 非常時には2校のインカム(トランシーバー)で連絡を取りながら対応できるようになっている。	特になし	特になし		
	6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	3	防災マニュアルは学園として規定している。また携帯用の防災マニュアルも全学生に持たせて危機管理を行っている。 非常時持ち出し用の名簿も職員室内に置いてある。	特になし	特になし		

7 学生 の 募 集 と 受 け 入 れ	7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取組んでいるか	3	埼玉県専修学校各種学校協会に加盟し、同協会の定めたルールに基づいて募集活動を行っている。募集目的のみならず福祉、保育・医療職の正しい理解を得るための高校訪問、説明会も参加している。	介護分野への高等学校教員の正しい理解が得られない。(介護は3Kの仕事のような認識)	高校訪問を中心に福祉・保育・医療分野の正確な情報提供を実施。 また、教育委員会や校長会をも巻き込んだ福祉・保育・医療分野の仕事説明会を関連団体や県の所管と連携し実現をめざしたい。	3.0	○学生募集については熱意を持って取り組んでいると感じられる。受入れに関しても適切な対応が取られている。 ○HP、SNS 共に更新が頻繁で最新の情報を早く得られる工夫をしている。 ○高齢者介護では、高校の進路担当の先生や親御さんの理解がまだまだ進んでいないように感じます。その為、介護を希望する学生に対して進路変更を促すといった事を耳にする事があります。現在の介護業界は処遇改善が進んでいると思いますので、その点の周知も行っていいのではないかと思います。 ○介護福祉士の資格取得について、以前は卒業と同時に取得できるというのが専門学校に入学する大きな魅力であったと思いますが、制度が変わりその魅力が薄れてしまったのではないかと思います。この代わりとして、専門学校に入学する魅力の代替えのアピールがあると良いと思います。
	7-25-2 学生募集を適切かつ効果的に行っているか	3	上記同様、ルールに沿った募集を行っている。 卒業生の活躍を学校案内等に掲載し、就職分野や進路先の理解、教育を中心とする学校の理解が得られるように工夫をしている。	特になし	特になし		
	7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	3	募集要項に選考基準や入試方法は記載されており、入試ごとに判定会議を行って公平な審査が行われている。	特になし	特になし		
	7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	3	数値データは毎月週行われる運営会議でチェックしながら分析、対策を打っている。財務を担う関連会社とも適宜打ち合わせを行い実学生数と財務の数字をチェックしている。	特になし	特になし		
	7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	3	入学初年度のみならず、卒業までにかかる学費諸費用について募集要項に明示している。また諸費用算定にあたっては、事前に見積もりをとり、それに基づいた徴収額を学内で決定している。	特になし	特になし		
	7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	3	入学前の3月末までの申し入れに対して学費返金は明示し、実際に返金している。	特になし	特になし		
	8 財 務	8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	3	5年の中長期事業計画で収支計算を行っている。またその予算執行状況を四半期ごとにチェックし修正しながら適切な予算運用をしている。設備投資についても財務状況を見ながら5カ年計画を立てている。	定員充足はしていない。		
8-28-2 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか		3	関連会社による財務の監査、分析を行い適正な運営をしている。またその連携によって学校としても予算執行を管理している。	特になし	特になし		
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか		3	学科の変更などに伴う募集の費用や設備投資など5カ年で計画を立て運用している	特になし	特になし		
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか		3	「予算=決算」を目標に関連会社とも連携し透明性の高い予算執行を行っている。 学園内監査も行い、適正に運用されているかチェックを受けている。	特になし	特になし		
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか		3	会計監査は学校の利害関係者に対して法人等の正確かつ信頼できる情報を提供するために第三者による監査人(公認会計士及び監事)が監査を実施し、監査報告書の作成、理事会及び評議員会で報告している。	特になし	特になし		
8-31-1 私立学校法に基づく財務公開体制を整備し、適切に運用しているか		3	情報公開規定、情報公開マニュアルを整備しており、それに基づいてホームページでも情報開示している。	特になし	特になし		

9	法令等の遵守	9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	3	コンプライアンス委員会、個人情報保護委員会を設置し、法令遵守に努めている。 学園本部にはセクシャルハラスメントの相談窓口がある。 学生にはソーシャルメディアの適正な使用方法を含めコンプライアンスに関する教育を行っている。	特になし	特になし	3.0	○法令順守が仕組み(システム)として構築されている。 ○組織体制、基盤がしっかりしていると思います。 ○貴校は広報等に力を入れられており、見ていても楽しい作りになっていると感じます。その一方で、写真等を多く使用されている為、許可を得ていない者の写り込みなどがHPなどで掲載されてしまうリスクがあると思いますので、HP管理者やブログを更新できる者などへの注意喚起をお願いしたいと思います。
		9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	3	就業規則に個人情報の取り扱いに関する規定も設け、全職員に対して個人情報保護の研修を実施している。 学生についても現場実習における個人情報保護の授業を実施している。	特になし	特になし		
		9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	3	自己点検自己評価委員会を設け、年に1度点検会議を実施している。またその結果を学校関係者評価委員会で報告し意見をもらい改善している。	特になし	特になし		
		9-34-2 自己評価結果を公表しているか	3	ホームページで学校評価、財務状況、監査結果など公表している。	特になし	特になし		
		9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	3	学則や規定は毎年見直し修正のある場合は届出を出している。 教育課程編成委員会は2年ごとに任期を設け適切な方に評価していただいている。	特になし	特になし		
		9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	3	ホームページで公表している。	特になし	特になし		
		9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	3	ホームページ上で学校情報の公開、さらにSNSで教育活動を公開している。	特になし	特になし		
10	社会貢献	10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3	精神保健福祉協会や自治会の会合場所として教室を提供している。 地域の子ども食堂の開催場所として教室を提供している。 ケアマネの講座など実施している。 地域清掃、パトロールに職員、学生で積極的に参加している。 地域包括支援センターと連携し、介護福祉士科にて【学内オレンジカフェ】を実施した。 さいたま市私立保育園協会との産学連携でさいたま市と市内の特徴ある保育を学生が学び、魅力を発信する課題解決型プログラムを組んでいる。	特になし	特になし	3.0	○地域清掃や夜回り活動は目に見える地域貢献の最たるものだが、学校の存在そのものが『周辺地域を文教地区として保存する役割』を果たし、商業地域化を抑制する防波堤としての機能を果たしている。 ○地域との交流などを定期的実施しており、地域社会とのつながりを大切にしている。 ○昨年の海外研修中止は残念であったが、スウェーデン関係の特別講演や食文化体験等代替企画で代用する等 コロナ下でも工夫し実行することが大切だと改めて感じました。 ○日ごろは自治会、地域活動への参加、協力等を積極的にされており、それに対する意見はありませんが、現在のコロナ過の自粛ムードの中で、今まで育ててきた関係性が疎遠になり薄れてしまう事が心配されます。その点のフォローがあると良いと思います。
		10-36-2 国際交流に取組んでいるか	2	ウエストフロリダ大学(UWF)と日米福祉学会を実施している。 また、UWFからは日本での交流会も実施している。 また国際教育は建学の理念の一つでもあり、海外研修、国内で行う国際講座など実施している。 (2020年度は新型コロナ対策の為、縮小延期等を行った) 2020年度留学生受け入れ人数は6名となった。日本語学校とも連携し、日本語トレーニングの授業も実施している。 ※留学生人数修正済み。	留学生の受け入れについては体制含め今後整えていく。	学園の留学生支援センターとの連携、留学生受け入れ実績校との連携を通じて外国人教育を構築していく。		
		10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	3	学科掲示板にて学生の参加を積極的に促している。(2020年度は新型コロナ対策の為、縮小延期等を行った)	特になし	特になし		